

サニーサイドアップ、note と戦略的パートナーシップ契約を締結

～AI時代における企業のブランド価値を最大化する「次世代型 PR モデル」を開発～



株式会社サニーサイドアップグループのコア事業を担う株式会社サニーサイドアップ（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長：リュウ シーチャウ、以下「当社」）は、note 株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役 CEO：加藤貞顕、以下「note」）と戦略的パートナーシップを締結し、同社が提供するメディアプラットフォーム「note」を活用した、AI時代における PR・コミュニケーションの新たな価値創出を目指す「次世代型 PR モデル」ソリューションの提供を開始いたします。

当社は「Relations Design Company」として、PR 発想を軸とした統合的なコミュニケーションソリューションを通して、企業やブランドと人や社会との関係性をデザインしてきました。昨年 11 月には、AI時代の“企業と社会の関係性”をデザインする専門チーム「AI Dialogue & Relations Team」を発足するなど、従来の PR・コミュニケーションによる話題化に加え、企業の価値を AI 時代に最適化して届ける PR への拡張を図っています。

昨今、生成 AI の急速な普及により、ユーザーが検索結果や AI チャット上だけで情報を得て完結する「ゼロクリック」現象が加速しています。そのため、これからの広報は、メディアや生活者に向けた情報発信だけでなく、「AI に自社の情報を正しく学習・推奨させるための情報設計（AIO：AI Optimization）」が求められます。AI を新たな「ステークホルダー」と捉え、企業の想いや信頼できる一次情報が正しく引用され、将来にわたって参照され続ける情報資産として蓄積されることが、企業やブランドの持続的な成長において重要になっています。

こうした背景を踏まえ、当社が長年培ってきた、人々の関心を引き寄せ、共感や熱量を生み出す「PR・コミュニケーション」と、AI 時代に最適化されたインフラである「note」を融合させた、新たなコミュニケーションソリューションを開発します。本パートナーシップのもと、両社による共同プロジェクトチームを立ち上げ、AI と生活者の双方から選ばれ続ける、新しい PR・コミュニケーションの形を提案・展開してまいります。

■ サニーサイドアップの「PR 発想を軸とした統合的なコミュニケーションソリューション」と note の「AI 推薦エンジン」を統合した新パッケージの開発

note のレコメンドエンジンや、AI が理解しやすいコンテンツの整理・最適化の仕組みを戦略的基盤として活用し、当社が企業の PR 戦略の立案から note の運用・コンテンツ発信までを一気通貫でサポートする「次世代型 PR パッケージ」を共同開発します。企業の専門性や実体験などの一次情報を AI に理解しやすい形で蓄積し、AI の回答の中に企業の価値が正しく反映される「B to A with C（Business to AI, with Consumer）」モデルの実現を目指します。

■ 「事実」に「熱量」を掛け合わせ、共感をアクションへ繋ぐエコシステム構築

AI 活用が進む中で課題となる「アウトプットの同質化」や「企業の没個性化」を防ぐため、プレスリリースをはじめとした客観的な「事実」の発信と、note による担当者の経験や想いといった「熱量」の発信を統合する仕組みを設計します。さらに今後は、note が持つハッシュタグ機能やコミュニティ醸成の強みを活かし、AI 時代に希少価値が高まる「熱量を伴うリアルな声（一次情報）」を発信するとともに、ユーザーの体験や購買などの具体的なアクションへとシームレスに繋げる、新たなエコシステムの構築を見据えた取り組みを進めていきます。

■ note 株式会社 代表取締役 CEO 加藤 貞顕氏 コメント

PR 領域のトップランナーであるサニーサイドアップさんと一緒にできること、たいへんうれしく思っています。

AI 時代に入り、企業の情報の届け方は大きく変わり始めています。自社ならではの想いやストーリーをきちんと発信し、それを資産として蓄積していくことが、これまで以上に重要になっています。

note は、企業が発信したコンテンツが検索エンジンや AI から参照されやすい環境を提供してきました。ここに、サニーサイドアップが持つ PR 戦略の設計力やストーリーづくりの知見が加わることで、話題をつくり、自社の資産にするというあたらしい循環を両社でつくっていただけることをとても楽しみにしています。

■ 株式会社サニーサイドアップ 代表取締役社長 リュウ シーチャウ コメント

生成 AI の普及により、情報の届け方は大きく変わりつつあります。要約された情報だけが消費される「ゼロクリック」の時代においては、単なる情報発信ではなく、「誰が・どの文脈で語るか」という一次情報の価値がこれまで以上に重要になっています。

また、私たちは AI を単なるツールではなく、情報の受け手であり拡散者でもある“新たなステークホルダー”として捉えています。だからこそ、AI にも正しく理解され、文脈ごと届くコミュニケーション設計がこれからのブランドに求められます。

その中で、個人や企業の思想やストーリーを丁寧に発信できるプラットフォームである note と、私たちサニーサイドアップが強みとする“文脈を設計し、社会に広げていく PR・コミュニケーション”を掛け合わせることで、企業と社会、そして AI を含めた新しい関係性をつくれると考えています。

本パートナーシップを通じて、AI 時代における新しい広報や PR・コミュニケーションのあり方を提示し、より多くの「共感」と「理解」が広がる社会を実現してまいります。

■メディアプラットフォーム「note」概要

note は、クリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。だれもが創作を楽しんで続けられるよう、安心できる雰囲気や、多様性を大切にしています。個人も法人も混ざり合い、好きなものを見つけたり、おもしろい人に出会えたりするチャンスが広がっています。2014 年 4 月にサービスを開始し、約 6,956 万件の作品が誕生。会員数は 1,114 万人（2025 年 11 月末時点）に達しています。

- URL : <https://note.com/>
- iOS アプリ : <https://itunes.apple.com/jp/app/note-noto/id906581110>
- Android アプリ : <https://play.google.com/store/apps/details?id=mu.note>

■ note 株式会社 概要

「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする」をミッションに、表現と創作の仕組みづくりを展開しています。メディアプラットフォーム note は、クリエイターのあらゆる創作活動を支援しています。クリエイターが思い思いのコンテンツを発表したり、メンバーシップでファンや仲間からの支援を受けたり、ストアでお店やブランドオーナーが商品を紹介したり、note pro を活用して法人や団体が情報発信をしたりと、多岐にわたる用途で活用されています。

- 代表取締役 CEO : 加藤貞顕
- コーポレートサイト : <https://note.jp/>

■ 株式会社サニーサイドアップ 概要 (SUNNY SIDE UP Inc.)

サニーサイドアップグループのコア事業として、企業やブランド、スポーツ、エンターテインメント、地方創生など幅広い領域で、PR 発想を軸としたブランドコミュニケーション事業を展開。PR、ブランディング、プロモーションをはじめとした統合的なコミュニケーションソリューションを通じて、企業やブランドと人や社会との関係性をデザインする Relations Design Company です。

社名 : 株式会社サニーサイドアップ / SUNNY SIDE UP Inc.

代表取締役社長 : リュウ シーチャウ

公式サイト : <https://ssu.co.jp>

■ 株式会社サニーサイドアップグループ会社概要 (SUNNY SIDE UP GROUP Inc.)

1985年の創業以来、「たのしいさわぎをおこしたい」をスローガンに、PR 発想を軸とした幅広いコミュニケーションソリューションを提供。企業やブランド、スポーツ、エンターテインメント領域に加え、地方創生や社会課題の解決にも取り組み、コミュニケーションの力で世の中に GOOD なインパクトを創出し続ける PR・コミュニケーショングループです。

2008年に株式上場（現在は東証スタンダード市場上場）、2020年にホールディングス経営体制へ移行。2024年には国際的な認証制度「B Corp」認証取得、国際アワード「Best Places to Work」受賞。

社名 : 株式会社サニーサイドアップグループ / SUNNY SIDE UP GROUP Inc.

代表取締役社長 : 次原 悦子

設立日 : 1985年7月1日

本社所在地 : 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 プライム千駄ヶ谷ビル

公式サイト : <https://ssu.co.jp>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社サニーサイドアップ

担当 : 荒井

お問い合わせフォーム : <https://www.ssu.co.jp/contact>